

# ソーシャルメディア に新たな支援

なく、人々につながりを提供し続けた。

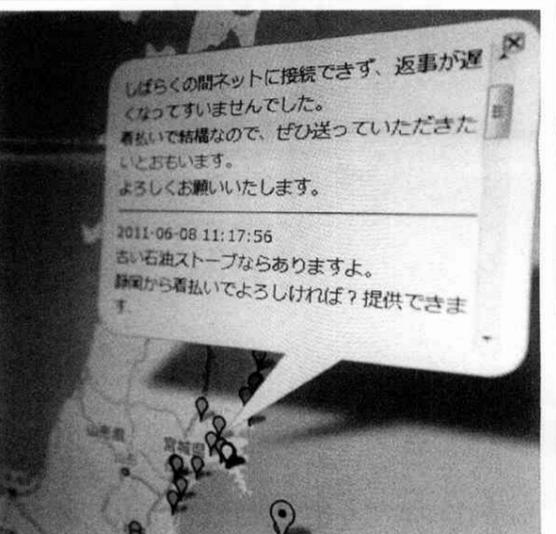
また、震災の直後から「Google Crisis Response」などの震災に関する情報がまとめられたポータルサイトが相次いで開設された。これらのサイトには、新聞社やテレビ局によるニュースや、行政機関からの発表のほかに、被災地から送られてきた安否情報や、ツイッター上のつぶやきなど、ありとあらゆる情報が網羅され、人々に提供された。

また、通信インフラが復旧し始めたころから、現地の情報や被災者の要望などがツイッターやポータルサイトに寄せられるようになった。被災者や、ボランティアとして被災地へ活動した人々の声も、ツイッターなどで積極的に発信された。これにより、物資の輸送や現地でのボランティアなどの面で、より現地と被災者の実情に即した支援が可能になった。

人々は、ソーシャルメディアを活用することで、社会的な身分や年齢などに関係なく、それぞれの「何かしたい」という気持ちを実現することができるようになった。その結果、これまでの災害では見られなかった多種多様な支援の形が生まれていった。ツイッターや、海外での普及率が高いフェイスブックでは、震災の直後から日本を励ます声があふれた。

野村総合研究所の調査によれば、東日本大震災に関連して「情報源として重視しているメディア」に「ポータルサイト」と答えた人は全体の43.2%に上り、「新聞」の36.3%を上回った。ソーシャルメディアと答えた人も18.3%と「新聞社サイト」の18.6%に迫った。震災後、ツイッターの利用者が33%増加したという調査結果もある。

今回の震災では、ソーシャルメディアが大きく活躍し、震災という大きな災害への対応のありかたを変えた。私たち高校生は、この震災におけるソーシャルメディアの活躍から、何を学ぶことができるのだろうか。【新井翔太】



## 被災地 高校生ネットで支援呼びかけ

「被災者の方のために、自分たち高校生にできることはないか」。そんな思いは被災地からも生まれた。東北学院高等学校の末永伸太郎さんが代表をつとめられる「Messenger311」だ。末永さんら高校生グループが避難所をまわり、被災者が必要としている物資を聞き取り、インターネットで支援物資の提供を呼びかけたのだ。

### 被災地の必要物資 ネットで呼びかけ

「こんな物資が足りない」「被災地で何を必要としているのか分からない」。支援を求めたい必要な物資を埋めたいのが「Messenger311」だった【写真】。まさにメッセージ（情報伝達者）として末永さんらは被災地をまわった。聞き取った要望はウェブサイトに必要物資・支援要求マップ 311HELP.com に書き込んだ。Google マップを活用し、どこで、どんな物資が必要か直感的にわかるようになっている。支援したい気持ちと必要物資をうまく結びつける「しかけ」がある。

### 呼びかけのスピード ツイッターが加速

しかし、当初はインターネットを活用するものではなかったという。そんなとき末永さんは友人から「311HELP.com」を紹介され、「このマップを活用してはどうか」と勧められたそうだ。

### ソーシャルメディアの力が発揮されたのは、ここからだ

「企画が固まると、末永さんは友人にすぐにメールを送り、協力を呼びかけた。そして3月30日から合計8人での活動が始まった。末永さんを驚かせたのは情報が広がるスピードだったという。ツイッターで呼びかけると、サイトが話題になった。さらにソフトバンクの孫正義社長がツイッターで紹介すると、知名度は急上昇した。公式アカウントには、たくさんの励ましや称賛の音が寄せられた。「今回の震災でソーシャルメディアが活躍していることは知っていたが、まさか自分たちがその事例になるとは」と末永さんは振り返る。

### 最初からネット利用考えず

末永さんは特に「コンピュータに強いというわけではない。普段は、普通の高校生と同じように、趣味の海外サッカーのニュースを読んだり、

### ソーシャルメディアの持つ力を実感していったという

「ソーシャルメディアを使えば、自分たちのようなごく普通の高校生でも、情報を発信していくことができる。それがわかった」と話す。被災地発という点もあり、話題になったが「自分たちでできること、それがインターネットを活用した支援だった」だけで自分たちが特別なことをしたとは思っていないという。「Tシャツを製作・販売し、その売り上げを寄付するという活動を行った高校生のグループがあった。こうした高校生らしい柔軟な発想があってもいい」と末永さんはいう。最初にネットありきという発想ではない。「被災された方のため」という純粋な気持ちで「ソーシャルメディアの出会いが、末永さんたちの成功の鍵である」と末永さんは振り返る。

### ソーシャルメディアの持つ力を

被災地では生活が困難な人、悲しみが癒されない人がたくさんいるとだ。支援活動は一段落したが、そこで生活しなければならぬ人たちはまだまだ多い。ソーシャルメディアは支援活動に貢献したが、一過性のものに終わらせず、今後も「つながって」いけるのか。ソーシャルメディア自身が試されている。

## 高校生 知らない人でも身近な存在

### ツイッターで協力者 3千500人 募金額 約136万円を達成

「ゆしほこさんは「みんなさん」で「高校生募金プロジェクト」を立ち上げ、ツイッターとブログで募金協力を呼びかけた。協力者は3500人以上、募金総額は約136万円に上った。高校生の活動としては募金額が大きく、本校で実施した募金活動の約20倍である。成功の秘訣は、2人のネットの使い方にあった。

プロジェクトは震災当日の夕方から始まった。インターネッとは「私たちにできることはいか」というメッセージが多く見られた。皆さんの気持ちを自らの当りにした「ゆしほこさん」は「一人ひとりの気持ちや力をまとめられないか」と考えた。気持ちがあっても、どう行動すればいいのか分からない。「ゆしほこさん」も同様にボランティアの難しさに直面していたのだ。そこで、ツイッターに「募金活動を始めよう」と呼びかけた。真っ先に声をかけてくれたのが京都府在住の高校生「みくさん」だった。

おつと呼びかけることで、協力者が増えるのではないかと考えたのだ。

2人の呼びかけに「震災の翌日には協力者が90人を超え、今では8000人の方がプロジェクトのアカウントをフォローして下さった」という。これだけの人が賛同してくれたいは「予想以上の反響」だったというが、同時に「ツイッター効果」も実感した。話すと「公式ツイッターやブログの口コミなどによる情報の広がり」が「速さ」がツイッターならではの強みだと話していった。

2人はブログも利用した。ツイッターは一度に140文字しか入力できないため「言

「予想以上の協力の「拡散」 ツイッター効果」を実感

「ゆしほこさんは「みんなさん」で「高校生募金プロジェクト」を立ち上げ、ツイッターとブログで募金協力を呼びかけた。協力者は3500人以上、募金総額は約136万円に上った。高校生の活動としては募金額が大きく、本校で実施した募金活動の約20倍である。成功の秘訣は、2人のネットの使い方にあった。

プロジェクトは震災当日の夕方から始まった。インターネッとは「私たちにできることはいか」というメッセージが多く見られた。皆さんの気持ちを自らの当りにした「ゆしほこさん」は「一人ひとりの気持ちや力をまとめられないか」と考えた。気持ちがあっても、どう行動すればいいのか分からない。「ゆしほこさん」も同様にボランティアの難しさに直面していたのだ。そこで、ツイッターに「募金活動を始めよう」と呼びかけた。真っ先に声をかけてくれたのが京都府在住の高校生「みくさん」だった。

おつと呼びかけることで、協力者が増えるのではないかと考えたのだ。

2人の呼びかけに「震災の翌日には協力者が90人を超え、今では8000人の方がプロジェクトのアカウントをフォローして下さった」という。これだけの人が賛同してくれたいは「予想以上の反響」だったというが、同時に「ツイッター効果」も実感した。話すと「公式ツイッターやブログの口コミなどによる情報の広がり」が「速さ」がツイッターならではの強みだと話していった。

2人はブログも利用した。ツイッターは一度に140文字しか入力できないため「言

「予想以上の協力の「拡散」 ツイッター効果」を実感

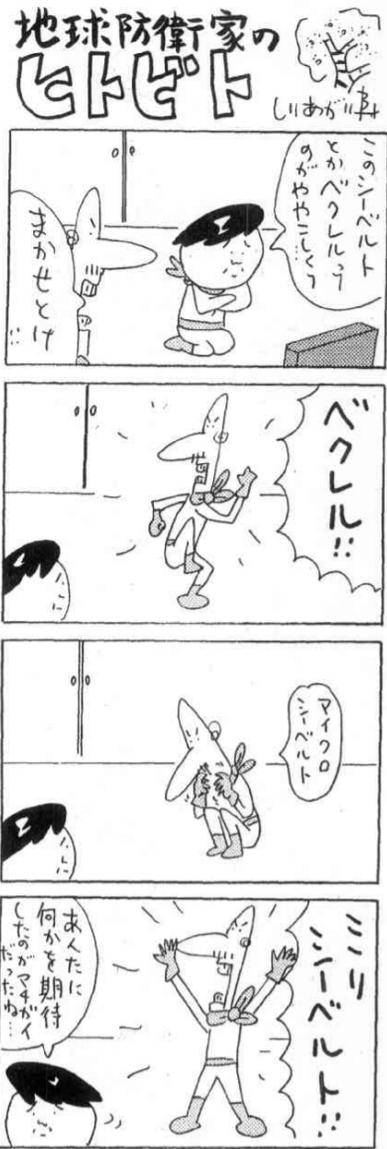
「ゆしほこさんは「みんなさん」で「高校生募金プロジェクト」を立ち上げ、ツイッターとブログで募金協力を呼びかけた。協力者は3500人以上、募金総額は約136万円に上った。高校生の活動としては募金額が大きく、本校で実施した募金活動の約20倍である。成功の秘訣は、2人のネットの使い方にあった。

プロジェクトは震災当日の夕方から始まった。インターネッとは「私たちにできることはいか」というメッセージが多く見られた。皆さんの気持ちを自らの当りにした「ゆしほこさん」は「一人ひとりの気持ちや力をまとめられないか」と考えた。気持ちがあっても、どう行動すればいいのか分からない。「ゆしほこさん」も同様にボランティアの難しさに直面していたのだ。そこで、ツイッターに「募金活動を始めよう」と呼びかけた。真っ先に声をかけてくれたのが京都府在住の高校生「みくさん」だった。

@yoshi0miyu

様々な情報、支援活動、メッセージがあふれた

「ゆしほこさんは「みんなさん」で「高校生募金プロジェクト」を立ち上げ、ツイッターとブログで募金協力を呼びかけた。協力者は3500人以上、募金総額は約136万円に上った。高校生の活動としては募金額が大きく、本校で実施した募金活動の約20倍である。成功の秘訣は、2人のネットの使い方にあった。



### 地球防衛家のヒトヒト

いっしょに活動しよう  
みんなが活躍しよう  
みんなが活躍しよう

「自分たちは、被災地を支援するために、活動しよう。みんなが活躍しよう。」

「みんなが活躍しよう。みんなが活躍しよう。」

「みんなが活躍しよう。みんなが活躍しよう。」

「みんなが活躍しよう。みんなが活躍しよう。」

## 物資の不足配信

### 高校生、避難所回って情報収集

地震で自宅に住めなくなり、親族宅に身を寄せる仙台市内の高校生が、友人らと避難所を回り、必要な物資の聞き取りを行っている。物資を効率よく行き渡らせることができるよう、得た情報をネット上の地図に載せ、誰でも見られるようにしている。高校生は「避難所の人の声を多くの人に届きたい」と話す。

活動を立ち上げたのは、東北学院高(仙台市宮城野区)3年の末永伸太郎君(17)。同市若林区の自宅は津波の被害を免れたが、窓ガラスが割れ、壁にはひびが入って住むことができず、近くの親族宅で家族と

ともに生活する。「自分は衣食住が足りていて動くこともできる。何かできることはないか」。地震から2週間後、知人の紹介で、各地で必要とされている支援物資をネット上の地図に掲載していた東京のインターネット関連会社に連絡。宮城の避難所に聞き取りをして、情報を提供することに決めた。

同級生に活動への参加を呼びかけると、8人が集まった。「いま足りないものは何ですか」「電気、水、ガスは通っていますか」。2、3人のグループを組んで市内の避難所を自転車で回り、必要なものや避難所



## 悩首

震災前は福島県立浪江高校に通い、卒業後は地元自動車部品会社に就職した。しかし、震災ですべてが変わった。志望していた会社は操業を停止。福島第一原発事故の避難指示地域にある母校では、通常の授業は受けられなくなった。

震災後に福島県が用意した通信教育を受ければ、卒業はできる。ただ、9月以降は県内の指定校に通うことが条件。自分が地元に戻れる見通しは立っていない。それに、通信教育だと、十分な求人情報が受け

## 海底、55センチずれ

底が最大で約55センチ動いたと見られることが、東京大地震研究所の解析で分かった。海底の地盤が大きく動いた領域は、津波被害が集中した地域の延長線上にあたり、津波を増幅させる原因になったと考えられるという。

岩手県釜石市沖約50キロと約90キロの海底に設置した観測機器のデータを元にして、古村孝志教授と前田拓人東大特任助教らが解析した。

解析によると、最も大きな地殻変動があったのは、宮城県牡鹿半島の200メートルほどの海底

## 東大地震研解析

長さ約160キロにわたり、南東方向に約55センチずれ、地震波による解析でも、同様の結果が得られたという。

この一帯は、別の研究グループの観測で、地震時に海底が約5センチ隆起したことが分かっている。陸のプレート先端が、跳ね上がりながら激しく動いたことが裏付けられ、古村教授は「海底の浅い場所で大きな地殻変動があったことが、大

## 宮城県沖津波増幅の原因

1896年の明治三陸地震でも、今回と同じように、陸のプレートの先端の海底が激しく動いたとみられ、大津波で2万人以上が犠牲となった。

古村教授は「今回は、明治三陸地震で動いた場所の南の領域が動いた。今後、さらに南の福島沖や北側の部分で同様の地震が起きる可能性があるのか注視していきたい」と話している。

(鈴木彩子)

## 発明対価支払い

### 東芝側に命じる

東京地裁、640万円

東芝の社員時代に日本語ワープロの変換機能を単独で発明したのに、正当な対価を受け取っていないとして、湘南工科大の天野真家教授(63)が約3億2600万円を同社に求めた訴訟で、東京地裁(大鷹一郎裁判長)は8日、約640万円

## 野球で被災地を元気に!

### 楽天の選手ら、避難所訪問

仙台を拠点とするプロ野球楽天の星野仙一監督や選手らが8日、宮城県内の避難所を訪れた。

山元町の山下中学校を訪れた星野監督は「頑張っている人は、自分で声を発信しよう。自分が多いと思う。そういった人の声を多くの人に届きたい」と話している。サイトのアドレスは以下の通り。http://31help.com (篠健一郎)

## 駒を取り合い

### 終盤戦に突入

羽生善治名人(40)に森内俊之九段(40)が挑戦している第69期将棋名人戦七番勝負(朝日新聞社、毎日新聞社主催)の第1局は8日朝から東京都文京区の椿山荘で指し継がれた。74手まで進んだ時点で、互いに引き

## 将棋名人戦 七番勝負

### 激しい攻防 第1局2日目

森内 歩一  
羽生 歩一

▲2日目の指し手  
先手・森内九段 ▲7五歩(封じ手)▲42手目 ▲4六歩▲8五桂▲6六銀▲7六歩▲7四歩▲同飛▲

▲2日目の指し手  
後手・羽生九段 ▲7二歩▲8一飛▲6五角成▲7七歩成▲同桂▲同桂成▲同銀▲3五歩▲4七銀▲3六歩▲3五桂▲3四銀▲

▲2日目の指し手  
先手・森内九段 ▲7五歩(封じ手)▲42手目 ▲4六歩▲8五桂▲6六銀▲7六歩▲7四歩▲同飛▲

▲2日目の指し手  
後手・羽生九段 ▲7二歩▲8一飛▲6五角成▲7七歩成▲同桂▲同桂成▲同銀▲3五歩▲4七銀▲3六歩▲3五桂▲3四銀▲

返せない激しい攻め合いに突入した。

立会人の谷川浩司九段が封じ手を開封して2日目が始まった。名人が封じた42手目は▲7五歩。1時間六歩からゆくりした流れを目指す。さらに▲8

13分の長考の末に決断した。戦端を開く一手だった。これに対し挑戦者は▲4六歩からゆくりした流れを目指す。さらに▲8

三角から馬を作り、厚みを築こうとする。ところが▲3五歩が名人らしい曲線的な手。受けに徹しようとした挑戦者の攻めを誘い、挑戦者も強気に応じたことから、両者が駒を取り合い、一気に終盤となった。

副立会人兼解説者の三浦弘行八段は「名人は挑戦者に攻めさせたが、苦しいからではない。挑戦者もうまく攻めないと、途切れてしまう。微妙に均衡が保たれているかもしれない」と話した。

(村上耕司)

## 仙台空港、13日再開へ

大島章安国土交通相は8日の閣議後の記者会見で、仙台空港の旅客便を13日から一部再開すると発表した。

全日本空輸と日本航空が同日から仙台-羽田を計4往復、仙台-大阪(伊丹)を2往復する臨時便を運航

## 一部旅客便から

仙台空港は東日本大震災と津波で壊滅的打撃を受けた。完全復旧には時間がかかるものの、旅客ビルの一部を使えるよう復旧作業を急ぎ、当面、小型機(百数十席)を日中に計6往復飛ばせるメドがついた。

## 朝日新聞社のお知らせ

### 「文章教室」「文章1日道場」受講者を募集

4月からの通信講座「文章教室」と、6月の公開講座「栗田氏の文章1日道場—応募作品を組上(そじょう)に」の受講生を募集します。

通信講座 課題に沿って毎月800字以内の文章を提出。朝日新聞の元記者が添削します。監修は「天声人語」元筆者の栗田氏。4月から6月、2万5000円。直接申し込み場合は、郵便振替用紙に「文章教室」と記し、受講料を朝日カルチャーセンター「00150・6・57322」へ

公開講座 栗田氏が、応募作品を教材に講義。最優秀作はカルチャーセンターのホームページに掲載予定▽6月5日(日)午後1時30分、東京・新宿住友ビル7階、3800円。作文の課題など詳細はお問い合わせください

申し込み・問い合わせ 主催の朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化 03-3244-9597 http://www.asahi

## au携帯、月末までに復旧へ

KDDIは8日、東日本大震災後に一部で利用できなくなっていたau携帯電話の復旧を完了したと発表した。

7日正午時点で携帯電話基地局は1カ所カバーできない箇所を閉じたり、衛星

電話は約99%が回復した。震災の被害額は数百億円規模に達する見込みという。田中孝司社長は「4月で暫定的な復旧段階を終え、5月からは新たに基地局を

あなたと作 情報メール FAX

# 『東北学院メッセンジャー』

## ～活動内容～

私たちは、各避難所の必要物資のニーズ(今必要なもの)を取材し、『必要物資・支援要求マップ』というサイトに書き込み、被災地に必要な物資が届くように、被災地の声を多くの方に伝える活動をしています。

～『必要物資・支援要求マップ』(<http://311help.com/>)について～  
このサイトの地図上に書き込むと、行政、NPO 団体や多くの方々がこのサイトを通して、貴方のきめ細やかな情報を得る事が出来ます。3月22日(火)付の河北新報で紹介されました。

※私たちにできることは、ざっと見たとき見逃されてしまうようなきめ細やかな情報を多くの方に知ってもらうことであり、必ずしも物資が届くことを保障してはおりません。しかし、この情報は必ず多くの方の目に留まるものなので、是非、あなたの必要なものをお聞かせください。

代表者：東北学院高校3年 末永 伸太郎



# 311 HELP.com



## 必要物資・支援要求 マップ

**遠慮しないで  
必要なもの、書き込んで下さい!**



こんにちは。311help.comです。

このサイトは、地図上に皆さんが、必要としているものを書き込み、それを見た誰かが支援するサイトです。

足りないもの、いっぱいあると思います。みんな、皆さんの事が心配なんです。だから、声を上げてみてください。

このサイトを使ってください。隣の方にも教えてあげてください。おじいちゃんの代わりに書き込んであげてください。

私たちは皆さんの声を精一杯大きくします。遠慮しないでください。日本中、あなたの力になりたいと思っています。

皆さんが一日も早く、日常を取り戻せますように。そして一日も早く、笑顔を取り戻せますように。

運営 311help.com 株式会社 42 Powered by Google 地図データ ©2011 ZENRIN



<http://311help.com>



<http://311help.com/m>

みんなの(こ)も  
どりもどら!!

# 電気

## 4県22万戸 停電続く

東北電力によると21日午後8時現在、青森、岩手、宮城、福島の4県で計22万1571戸が停電している。前日午後8時の時点に比べ2万2382戸減少した。

県別では最多の宮城が1万3267戸で、前日比2万1271戸の減少。津波

被害が大きかった南三陸町の一部で復旧が始まったものの、女川町では復旧のめどが立っていない。他の市町村では全戸か一部が復旧している。

岩手の停電は3万9682戸で、福島3万8092戸、青森530戸。

# 水道

## 白石・蔵王 復旧進む

仙台市水道局によると、宮城県七ヶ宿町の七ヶ宿ダムを水源とする広域水道水系は20日現在、白石市内の本管の点検、改修を終え、蔵王町内の復旧作業が進んでいる。仙台市の配水所への供給は予定通り24日ごろとなり、31日にも各戸に給水できる見通し。また、泉区北部と青葉区中西部で比較的大規模な漏水がある

ことが分かり、通水に向けて作業を急いでいる。

# ガス

(1面に詳細記事)

# 道路

## 宮城93カ所で通行止め

宮城県によると、21日午後5時半現在、県が管理する国道、県道は93カ所で全面通行止めとなっている。

片側交互通行は71カ所。詳細は県のホームページで閲覧できる。

# バス

## 5路線の運行再開 仙台市交通局

仙台市交通局は22日、南、東、西方面で計5路線のバスの運行を再開する。これまで走らせてきた特別路線3線も同日、通常路線に戻す。運行路線数は計30。時間は午前6時半～午後8時半で、30分～1時間間隔。運行再開路線は次の通り。

長町営業所一長町駅経由由南仙台駅東口一四郎丸、岩切駅前一利府街道一東仙台営業所一原町経由由仙台駅一交通局大学病院前、東高校入口一若林経由由仙台駅一交通局大学病院前、

青葉台一宮教大・工学部一青葉通経由由仙台駅、作並温泉一白沢車庫一国道48号・八幡町経由由仙台駅一十和田観光電鉄(十和田市)などは22日、仙台一青森間の高速バスの運行を再開する。1日3往復で予約制。運賃は中学生以上片道5700円で、小学生以下は半額。連絡先は同社青森営業所高速バス予約センター017(787)1558(午前9時～午後6時)。

宮城交通は22日、仙台一弘前間の高速バスの運行を再開する。1日1

往復で予約制。運賃は中学生以上片道5900円で、小学生以下は半額。同路線は既に運行を再開している弘南バスと合わせて1日2往復となる。連絡先は弘南バス予約センター0172(37)0022(午前9時～午後6時半)。

岩手県交通は22日、仙台一江刺間、

盛岡一水沢・千厩間の急行バスの運行をそれぞれ2往復で再開する。

JRバス東北は22日、盛岡一久慈間を3往復で全線運行する。これまで盛岡一巻巻の部分運行だった。

東北バスは22日、盛岡一軽米・大野間を1往復で運行再開する。

# 安否

## 宮城県が避難者情報電話

●宮城県は、22日午後4時、避難者情報ダイヤル022(211)3430を開設する。各市町村が避難所ごとにまとめた避難者リストに基づき、電話で氏名、住所などの照会に応じる。提供できる地域は21日現在、石巻、気仙沼、白石、角田、多賀城、岩沼、登米の各市と、七ヶ宿、柴田、松島、羽村、大郷、加美、女川、南三陸の各町。ほかの市町については情報提供を受け次第、対応する。開設時間は午前9時～午後9時。県のホームページにも掲載する。

●宮城県警は、行方不明者相談ダイヤル022(221)2000に寄せられた連絡がつかない人々の名前一覧をホームページ(HP)に掲載。HPを

見て生存を県警に連絡すれば、掲載された名前を削除していく。

●宮城県警は、死者の中で、身元の推定できる人の名前と、遺体の収容場所を公表。HPで閲覧できる。連絡先は行方不明者相談ダイヤル022(221)2000。

●岩手県警は、地震に伴う行方不明者に関する相談に応じる行方不明者相談ダイヤル(0120)801471を設置。

●福島県警は、地震の行方不明者に関する相談を「行方不明者・警察安全相談コーナー」で応じている。(0120)510186、090(8424)4207、090(8424)4208

# 支援

●ハローワーク仙台(仙台市宮城野区榴岡4の2の3)と仙台新卒応援ハローワーク(仙台市青葉区中央1の2の3)は22日から業務を再開する。失業給付関連では、失業認定に必要な求職活動の要件を緩和して対応するほか、管轄外の市町の住民も受け付ける。職業相談・紹介も一部可能。連絡先はハローワーク仙台022(299)8811。

●カツオー本釣りの船団が気仙沼港に入港するなど気仙沼市と縁が深い高知県黒潮町の大西勝也町長が20日、同市を訪れ、トラックに積んできたプレハブ倉庫1基を贈った。大西町長は18日に高知を出発。毛布や食料などの物資とともに約13平方メートルのプレハブ倉庫を運んできた。寄贈を受けた気仙沼市の加藤慶太副市長は「温かい気持ちに感謝します」とビギンな支援物資に感激していた。市内の中学校の共同調理場に設置し、炊き出し用のコメの保管所に使用する。

●母乳育児相談室「まんまはうす」は22日から、助産師による赤ちゃんの湯あみ、体重測定、育児相談を行う。料金は1000円。困っている人は相談に応じる。電話予約制。日曜日は休み。所在地は仙台市太白区長町5の5の36、レスポワール長町101号室。ホームページ(http://www.geocities.jp/mamma\_

house/index.htm)に地図を掲載。連絡先は090(4552)1179。留守番電話の時は折り返し連絡する。

●かくたこども&アレルギークリニック(多賀城市中央1の16の8)は22日午前9時～午後5時、アレルギー対応食品を無料配布する。食物アレルギーのある人なら誰でも受け取れるが、クリニックまで取りに行くことが条件。なくなり次第終了。配布する品目はホームページ「アレルギーっ子の生活」(http://home.page2.nifty.com/smarm/)に掲載。連絡先は022(368)7711。

●NPO法人アイサポート仙台は、被災した視覚障害者の日常生活の困りごと、生活情報などの相談に応じる。平日の午前9時～午後6時。連絡先は022(212)1131。

●ホームページ(HP)制作会社ココム(仙台市青葉区)は、震災情報を発信するHPの無料更新サービスを開始する。東北地方の企業や公的機関が対象。基本的に週1回のペースで文章や写真、図表の追加、修正などを行う。4月末までサービスを継続し、その後は復興状況など見て判断する。連絡先は022(711)4587。

●イズミハウジングは22日正午から、仙台市若林区大和町2の1の2の同社前で炊き出しを行う。カレーライス約200食を無料提供する。食器やスプーンを持参。連絡先は022(782)4888。

●NPO法人シャロームの会は22日午前8時半～9時半、仙台市若林区新寺2の3の1のカフェギャラリ

ー「太陽とオーブ」で炊き出しを行う。おにぎりともみそ汁約60を無料提供する。衣類などの無料配布もする。連絡先は022(293)4345。

●NPO法人仙台夜まわりグループは22日午前11時～午後1時、仙台市若林区文化町17の25の事務所前で、缶詰など100個を無料配布する。なくなり次第終了する。連絡先は090(9423)5697。

●栗原おんがえし隊は22、23の両日午前10時～午後5時、栗原市築館伊豆1の7の26、旧万商店の空き店舗で支援物資を受け付ける。精米した白米、梅干し、カップ麺、缶詰、ハム類、未使用のみそ・しょうゆ、割り箸、ラップなどの提供を呼び掛けている。早ければ24日に南三陸町方面に届ける。連絡先は0228(22)1905。

●生活困窮者支援施設・行持院(宮城県亶理町逢隈小山与平谷地61)は、一般の給水・入浴と、ろうあ者20人・手話通訳者5人に限定した宿泊・食事提供をしている。いずれも無料。井戸水のため飲料の場合は煮沸が必要。入浴はタオルなど持参。洗濯機1台があり洗剤持参で少量なら洗濯も可能。連絡先は0224(56)1826、090(2796)9440、080(1847)3593。

●山口県萩市は、緊急避難を希望する被災者の家族や児童生徒を受け入れる。家族向けに公営住宅20戸、子どもだけでも滞在可能な青少年宿泊施設(50人程度)を2カ月ほど無償提供。状況で延長にも応じる。通学、通園を含め学習などにも配慮する。当分の間、休日・夜間も相談を受け付ける。萩市企画課080(1913)0719。

## 物資運搬 効率的に ネット会社 マップ作成

東京のインターネット関連会社が、避難所に物資を効率的に配分するためのサイトを作成した。

開発したのは「必要物資・支援要求マップ」。米インターネット検索大手グーグルによる地図サービスベースに作成しており、17日から運用している。

使用法は被災者が地図上に示されるポイントに被災者が必要な物資を書き込む一方、自治体など物資の送り手側は書き込みを閲覧しておおよその需要量を把握。必

要な場所に必要物資を送り届けようという試みだ。

被災者の多くは現在、インターネットを使える環境にないが、物資を運搬するドライバーなどの書き込みも想定している。今後、携帯電話用サイトも作成する。

開発した「42(フォーティーツー)」の田原大生社長は「物資の効率的配分に役立てることができればうれしい」と話している。サイトのアドレスはhttp://31help.com

集委員会 ①ゆうちょ銀行00100-2-552②岩手銀行県庁支店(普)2016634③北日本銀行本店営業部(普)7028484④東北銀行本店営業部(普)3237413。連絡先は保健福祉企画室019(629)5408。

●青森県「青森県災害対策本部」①青森銀行県庁支店(普)3008317②みちのく銀行青森支店(普)2799091。連絡先は健康福祉政策課017(734)9276。

●名取市 七十七銀行増田支店(普)5566398「名取市災害対策本部災害対策部長長井口経明(つねあき)」。

●岩沼市 七十七銀行岩沼支店(普)5671434「岩沼市災害対策本部災害対策部長長井口経明(つねあき)」。

●宮城県大和町 七十七銀行吉岡支店(普)5473306「大和町災害対策本部」。

●仙台市 七十七銀行仙台市役所支店(普)5334233「仙台市災害対策本部」。

●宮城県七ヶ浜町 七十七銀行七ヶ浜支店(普)9000887「七ヶ浜町会計管理者阿部真也」。

●黒石市 姉妹都市の宮古市への義援金を4月28日まで受け付け。青森銀行(普)3017743「宮古市救済金黒石会計管理者」。

●全国信用金庫協会 全国の信用金庫本支店(約7600店)で受け付け。9月30日まで。

●宮城県共同募金会 七十七銀行

ズ、赤ちゃん本舗、デニーズほか全国の1万4251店舗に、31日まで募金箱を設置。

●カインズ カインズホーム喜多方店をはじめ17都道府県の125店舗に、募金箱を設置。

●楽天 楽天銀行に口座のある人はホームページで、それ以外の人

は、楽天銀行本店(普)9000180、楽天銀行株式会社 東北地方太平洋沖地震義援金。ビットレットはホームページで、1～5万円まで受け付け。5月31日まで。

●シダックス 被災地以外のカラオケ店、レストランの全店と、施設内レストラン、売店などの一部に設置した「マザーフード基金」募金箱を受け付け。

●エポック・ジャパン 神奈川、千葉、宮崎、熊本各県にある28のファミユホールで受け付ける。

●長谷川興産 全国の「靴専科」88店で受け付け。4月30日まで。ただし仙台中央ビル支店の営業再開は未定。

●日本スポーツ振興センター ホームページから「Club toto」ポイントで募金できる。5月31日まで。

●オズビジョン インターネットサイト「ドル箱」でポイント募金を集めている。31日まで。

# 遺体安置所

●宮城県警の遺体安置場所は次の通り。(21日午後5時現在)【気仙沼市】本吉響高、新城小、白山小、階下小、面瀬小【石巻市】市総合体

●4月に宮城県内各地で開催予定

●仙台市太白区・女性(74) 夫が

●栗原市・男性 沿岸に比べて被

このたびの東日本大震災により  
被災された方々に心からお見舞い申し上げ、  
一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。  
新聞部

# THE PRESS 国際高

発行所  
富山市願海寺水口444番地  
富山国際大学付属高等学校  
新聞部  
ホームページアドレス: <http://www.tuins-h.ed.jp>  
印刷所 北日本印刷株式会社



テニス部 男子ダブルス 優勝



サッカー部 北信越大会で準優勝

## 6つの部 全国で羽ばたけ!

テニス部は8月の県高校総体を、男女ともに団体優勝を決め、8月初めに青森県で行われるインターハイに出場を決めた。個人戦シングルスでも大島志穂(27)が優勝、前田成良(20)が準優勝、また男子の部で秋田弥君(24)が準優勝、こちらがインターハイに出場を決めた。

女子のテニス部は、インターハイでは必ず初戦を突破し、男子の秋田弥君は、日頃練習を積み重ねてきた成果を發揮し、勝利に導いた。

## サッカー部 北信越大会で準優勝

女子サッカー部は、8月10日から12日にかけて行われた第20回全日本高校女子サッカー選手権大会に出場し、北信越大会で準優勝した。

田原由夏(29)は、悔いのないように、最後まであきらめずに走り切った。試合終了後、選手たちは涙を流しながら抱擁し合っていた。

## 小見山さん 2冠

バドミントン部は、6月に開催された県高校総体の個人戦女子ダブルスで小見山(24)と山口(20)のペアが優勝した。また、女子シングルスでも小見山さんが優勝した。

## 空手道 嶋帽子田さん 連続出場

6月に行われた県高校総体の空手道個人戦で嶋帽子田(26)が優勝し、連続出場を果たした。

## 福島総文へ 出場

新聞部は、福島県松岡市で行われる福島県新聞部大会に出場する。大会では、新聞部員が編集技術や読者のニーズを把握する能力を競う。

## めざせ甲子園

野球部は、7月14日に開幕する第98回全国高校野球選手権大会に出場する。第1試合は、富山県立総合体育館で対戦する。

## かざぐるま

福島原発の事故を痛感して始まった節電活動。富山県では、企業や家庭での節電が呼びかけられている。富山県では、企業や家庭での節電が呼びかけられている。

## アメリカ研修 13日に出発

1年1組国際英語コースの生徒16人が7月13日、アメリカ・オレゴン州の研修旅行に出発した。一行は、国際的なコミュニケーション能力を高めることを目的としている。

## ★今年の紙面★

特集1 富山の魅力、再発見  
特集2 震災と国際高  
特集3 富山の未来

# 第48回 体育大会 ひとつの絆を大きな輪に



結果発表の瞬間、喜びあふれる青龍団

## 青龍団が3連覇達成

第48回体育大会が6月14日「BIG RING」の輝きを放ち、ひとつの絆を大きな輪に。青龍団は、3連覇達成を果たした。この瞬間、選手たちは涙を流しながら喜びあふれていた。

2位 朱雀団  
3位 黄龍団  
4位 白虎団



## 「つながり」深めたい 生徒会 滝田新執行部が発足

平成23年度前期生徒役員選挙の結果、生徒会長の滝田新執行部が発足した。新執行部は、国際生と日本人のつながりを深め、学校生活の充実を図ることを目指している。

## 今年10月に開催 第22回文化祭

第22回文化祭が10月28日に開催される。今年は、3月に起きた東日本大震災を乗り越え、被災地の復興と、生徒会執行部のテーマ「つながり」をテーマにした企画が数多く予定されている。

今年10月に開催 第22回文化祭









